

## 令和4年度 ASEAN向け AJEEP Scheme 4第1回中間ワークショップを実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和4年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4 プログラムの第二弾として令和4年12月19日（月）、ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度関係者を対象に、ASEAN共通標準エネルギー管理士研修プログラムに関する第1回中間オンラインワークショップを開催しました。



1. 目的：今年度より新たに開始したAJEEP Scheme 4は、ASEANのCommon Standard Module（共通標準的研修プログラム）を策定し、SAEMAS（持続的ASEANエネルギー管理士認証システム）を構築する為の支援を実施します。今年度は、各国のエネルギー管理士制度・研修プログラムとAJEEP並びにAEMAS（ASEANエネルギー管理士認証システム）での研修内容を比較検討してその報告書を作成すると共に、Common Standard Moduleの草案を作成する計画です。そのために、11月に実施したECAP27での議論を踏まえて、各国からこの制度に関係する2-3名の政策担当者や技術専門家を任命してワーキンググループ（WG）を作り、オンラインワークショップ（WS）を3回開催する予定で、今回、第1回中間WSをオンライン開催しました。
2. WS出席者：参加者は、WGメンバーとしてASEAN各国から政策担当者を中心に17名、ACE (ASEAN Centre for Energy) から7名の合計24名が、またECCJからは8名が参加しました。
3. WS概要：
  - (1) 開閉会挨拶：第1回中間WSの開閉会式では、ECCJとACE (ASEAN Centre for Energy) から挨拶をしました。
  - (2) ASEAN各国から、自国でのエネルギー管理士研修プログラムをECAP27での報告より更に具体的に紹介すると共に、ACEからもAEMASの研修プログラム詳細を紹介し、参加者と共有しました。
  - (3) また、それらの各国のエネルギー管理士制度と同研修プログラムを比較表に集約する作業を開始し、比較表のフォーマット等の提案・討議を行いました。
  - (4) 更にCommon Standard Moduleの構成案も提案・討議され、活発な意見交換が出来ました。
  - (5) 次回の第2回中間WSは来年1月中旬とし上記内容を更に作成・討議する予定です。

\* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)  
ASEAN-日本エネルギー効率パートナーシップのもとに実施される受入研修